

バイオマス利活用技術情報データベース調査票（たい肥化施設用）

（社）地域環境資源センターでは、バイオマス利活用施設整備の促進を図るためには、これから施設を建設しようとする地方公共団体等に対して、施設の計画、設計、工事発注等の関連業務を効率的に進める上で参考となる技術的な情報を提供することが重要であるとの観点から、既設の施設に関する情報を収集・登録し、広く提供するための「バイオマス利活用技術情報データベース」の整備を進めています。

本調査票は、当該データベースに登録するための市町村等からのデータ提供用のものであり、この調査票によって得られたデータはウェブ上で一般に公開する予定です。

関係の皆様にはデータベース構築の趣旨をご理解の上、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

本調査に関する問合せ先、調査票提出先

（社）地域環境資源センター バイオマス技術部
バイオマス利活用技術情報データベース担当 あて
〒105-0004 東京都港区新橋5丁目3番4号 農業土木会館6階
電話：03-3432-6283 FAX：03-3432-0743
<http://www.jarus.or.jp/>
mail：datainfo@jarus.or.jp

i 調査票記入者（連絡用）

次の表の情報は、次ページ以降の調査票にご記入いただいた内容に関する問合せ等の連絡先としてのみ利用するものです。これらをデータベースに登録したり公開したりするものではありません。

調査票記入年月日 平成 年 月 日

| | |
|-------------|---|
| 氏名 | |
| 所属 | |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 | |
| FAX 番号 | |
| e-mail アドレス | |

ii フロー図・物質収支図・カタログ等

調査票と、併せてパンフレット（対象施設のフロー図や物質収支図を含むもの、地域の活動に関するもの等）や設備のカタログ等をご提供くださるようお願いいたします（PDF 形式などにより電子化されたものが望ましいですが、ない場合は印刷物でも結構です）。

なお、ご提供いただいたパンフレット等の全部または一部は本データベースの検索結果の一部として閲覧、ダウンロードできるようにする予定です。あらかじめご了承ください（ご提供いただくパンフレット等に公開できない部分が含まれる場合は、その部分に印をつけるなどにより明示してください）。

1. 施設の概要

| | | | | | |
|-----------------|--------------------------------------|---|----|---|--|
| 1.1 施設の名称 | | | | | |
| 1.2 施設の名称（フリガナ） | | | | | |
| 1.3 所在地（住所） | 都道 | 郡 | 市区 | | |
| | 府県 | 市 | 町村 | | |
| | 市区町村の地方公共団体コード（5桁） 不明な場合は空欄で結構です。 | | | | |
| 1.4 供用開始年月日 | 西暦 | 年 | 月 | 日 | |
| 1.5 施設全体の敷地面積 | m ² （整数） | | | | |

1.6 管理主体

| | |
|----------------|---------|
| (1) 管理主体名 | |
| (2) ホームページ URL | http:// |

※施設の概要などを紹介しているホームページを公開している場合の URL としてください。なお、ここに記入していただくウェブページは本データベースにおける検索結果からリンクする予定ですので、それにご了承いただける場合のみご記入ください。

1.7 維持管理概要 （管理費、管理人員とも整数）

| | 計 画 | 実 績 |
|----------------|------|------|
| (1) 維持管理費 | 千円／年 | 千円／年 |
| (2)・維持管理人員(常勤) | 人 | 人 |
| ・非常勤人員 | 人 | 人 |

※公表可能な場合は、実績値もご記入ください。

1.8 事業概要

| | |
|---------|--|
| (1) 事業名 | |
|---------|--|

※事業主体が用いている当該施設の整備に係る固有の事業名としてください。通称名でも結構です。

| | | |
|--|---------------------------|-----------|
| (2) 事業主体名 | | |
| (3) 総事業費 | 百万円（百万円未満四捨五入） | |
| (4) 助成制度利用の有無 | 1. 有 2. 無 どちらかを○で囲んでください。 | |
| (5) 利用した助成制度名と助成主体名 ※複数あれば列挙してください。 | 助 成 制 度 名 | 助 成 主 体 名 |
| | | |
| | | |
| | | |

1.9 その他団体等

| | |
|-----------|--|
| (1) 団体等名称 | |
|-----------|--|

※施設の設計や維持管理に当たって、特に技術的な協力を得ている研究機関、大学、民間団体等があれば、その名称を記入してください。

2. 設備の製作・据付会社

本施設における設備の製作または据付を含む工事等（事業主体が自ら発注した設備の購入契約を含みます）及びその受注会社（設備メーカーや据付工事の施工会社又はJV）について記入してください。

設備の製作や据付を含まない土木・建築工事（例えば敷地造成、外構整備、上屋建築などを個別に発注したもの）は調査対象外ですので、ご記入いただく必要はありません。

同一の受注会社（又はJV）が複数の工事等を行った場合は、それらをまとめて1件とし、総工費（契約金額）は合算してください。

受注会社（又はJV）の異なる複数の工事等がある場合は、お手数ですがこのページをコピーのうえ、受注会社（又はJV）ごとにご記入ください。

| | |
|------------|--|
| 2.1 工事等の件名 | |
|------------|--|

※複数年度にわたる場合などで複数の異なる件名がある場合は、請負金額が最も大きい工事等の件名とし、その他の工事等の件数を「他○件」と追記してください。例：「〇〇建設工事他2件」

| | |
|------------|--|
| 2.2 工事等の内容 | 1 設備の製作・購入を含む 当該工事等で製作または購入した設備（複数選択可） 1 前処理設備 2. 乾燥設備 3. 一次発酵設備 4. 二次発酵設備 5. 製品調整設備 6. 脱臭設備 7. その他（ ） |
| | 2 設備の製作・購入を含まない ※設備の据付のみを行う工事が該当します。 |

工事等の内容が設備の製作（または購入）を含むか含まないかを選択のうえ、設備の製作・購入を含む場合は該当する設備の番号に○をつけてください（複数選択可）。

設備の区分については本調査票7ページの「4. 設備の概要」を参照してください。

| | |
|---------------|-----------------|
| 2.3 総工費（契約金額） | 百万円 （百万円未満四捨五入） |
|---------------|-----------------|

※複数年度にわたる場合などで複数の工事がある場合はそれらの工事費の合計としてください。

| | |
|------------------|-----------------------|
| 2.4 全体工期（契約等の期間） | 着工：西暦 年 月 ～ 完了：西暦 年 月 |
|------------------|-----------------------|

※複数年度にわたる場合は最初の年の着工年月から最後の年の完了年月としてください。

| | |
|------------------|----------------------------------|
| 2.5 受注形態（単独かJVか） | 1. 単独 2. JV 該当するものを○で囲んでください。 |
|------------------|----------------------------------|

2.6 受注会社名

| | |
|--|------|
| (1) 会社名 ※JVの場合はJV名 | フリガナ |
| | |
| (2) JVの場合の構成会社名 ※JVの構成会社を出資比率の大きい順にすべて列挙してください。 | フリガナ |
| | |
| | フリガナ |
| | |
| | フリガナ |

会社名の記入について：

- 「株式会社」等の会社種別も省略せずに必ず記入してください。ただし、「(株)」等と略記しても構いません。また、会社種別にはフリガナをふる必要はありません。
- JVの場合の構成会社名は、出資比率の大きい順にすべての会社名を列挙してください。欄が足りない場合は余白等を利用してすべてご記入ください。

3. 変換技術の概要 (たい肥化)

3.1 たい肥化施設の搬入バイオマス

| | | |
|--------------|---|-----------------|
| (1) 搬入量 (合計) | 年間 | t/年 (整数) |
| | 日 | t/日 (小数点以下1位まで) |
| (2) 年間稼働日数 | 日/年 (整数) | |
| (3) 種類別内訳 | 次の表の種類ごとに有無を○で囲った上で、該当するものの計画・設計上の搬入量 (t/年、t/日) と含水率 (%) を記入してください。 | |

※ 搬入量を体積表示されている場合は、重量換算願います。参考値を下記に示しますが、バイオマスの種類や含水率により差がありますので、実情に即した値が把握できる場合は、そちらを優先してください。

参考値) 含水率 98%程度の場合 : 1.0t/m³ 含水率 85%程度の場合 : 0.8t/m³

搬入バイオマスの種類別内訳 (年搬入量は整数、日搬入量及び含水率は小数点以下1位まで)

| | 種類 | 有無 | 年搬入量 (t/年) | 日搬入量 (t/日) | 含水率 (%) |
|----|-----------------|-----|------------|------------|---------|
| 1 | 肉牛ふん | 有・無 | | | |
| 2 | 肉牛ふん尿(混合) | 有・無 | | | |
| 3 | 乳牛ふん | 有・無 | | | |
| 4 | 乳牛ふん尿(混合) | 有・無 | | | |
| 5 | 豚ふん | 有・無 | | | |
| 6 | 豚ふん尿(混合) | 有・無 | | | |
| 7 | 鶏糞 | 有・無 | | | |
| 8 | 家庭(収集)生ごみ | 有・無 | | | |
| 9 | 事業系生ごみ(給食) | 有・無 | | | |
| 10 | 事業系生ごみ(給食以外) | 有・無 | | | |
| 11 | 下水汚泥 | 有・無 | | | |
| 12 | 浄化槽汚泥 | 有・無 | | | |
| 13 | 集落排水汚泥 | 有・無 | | | |
| 14 | し尿汚泥 | 有・無 | | | |
| 15 | 工場汚泥 | 有・無 | | | |
| 16 | 農産加工物残さ | 有・無 | | | |
| 17 | 水産加工物残さ | 有・無 | | | |
| 18 | 畜産加工物残さ | 有・無 | | | |
| 19 | 資源作物(糖質、でんぷん質系) | 有・無 | | | |
| 20 | 資源作物(セルロース系) | 有・無 | | | |
| 21 | 稲わら、麦稈 | 有・無 | | | |
| 22 | もみ殻 | 有・無 | | | |
| 23 | 乾草 | 有・無 | | | |
| 24 | おが粉 | 有・無 | | | |
| 25 | バーク | 有・無 | | | |
| 26 | 木チップ | 有・無 | | | |
| 27 | 剪定枝葉 | 有・無 | | | |
| 28 | 古紙 | 有・無 | | | |
| 29 | 製材所残材 | 有・無 | | | |
| 30 | 林地残材 | 有・無 | | | |
| 31 | 建築廃材 | 有・無 | | | |
| ・ | その他 () | 有・無 | | | |

※搬入バイオマスの種類別内訳には、投入副資材も含むものとする。

※搬入量は原則として計画値を基本としますが、施設稼働後に計画値が変更されている場合は、変更後の計画値を優先願います。

以下、選択式の項目については該当するものの番号を○で囲んでください。「その他」の場合は()内に具体的な内容を記入してください。

3.2 たい肥化の種別等

| | | |
|-----------------------|---|--------------------------------|
| (1) たい肥化の種別 (単一選択) | 1. 堆積方式 (無通気型) 3. 攪拌方式 (開放型) ・その他 () | 2. 堆積方式 (通気型) 4. 攪拌方式 (密閉型) |
| (2) たい肥化の方式 (単一選択) | 1. 開放型攪拌ロータリー式 3. 密閉型攪拌縦型 ・その他 () | 2. 開放型攪拌スクープ式 4. 密閉型攪拌横型 |

3.3 投入副資材

前ページの搬入バイオマスの種類として選択したもののうち、投入副資材として位置付けているものについて、次の表の種類ごとに有無を○で囲ってください。

投入副資材

| | 種類 | 有無 |
|----|---------|-----|
| 1 | 稲わら、麦稈 | 有・無 |
| 2 | もみ殻 | 有・無 |
| 3 | 乾草 | 有・無 |
| 4 | おが粉 | 有・無 |
| 5 | バーク | 有・無 |
| 6 | 木チップ | 有・無 |
| 7 | 剪定枝葉 | 有・無 |
| 8 | 古紙 | 有・無 |
| 9 | 製材所残材 | 有・無 |
| 10 | 林地残材 | 有・無 |
| 11 | 建築廃材 | 有・無 |
| ・ | その他 () | 有・無 |

3.4 最終生成物

| | | |
|--------------|--|-----------------|
| (1) 生成量 (合計) | 年間 | t/年 (整数) |
| | 日 | t/日 (小数点以下1位まで) |
| (2) 種類別内訳 | 次の表の種類ごとに有無(「種類」欄)を○で囲った上で、計画・設計上の日生成量(t/日)、含水率(%)、成分、予定出荷先について記入してください。 | |

※ 生成量を体積表示している場合は、重量換算願います。参考値を下記に示しますが、バイオマスの種類や含水率により差がありますので、実情に即した値が把握できる場合は、そちらを優先してください。
参考値) 0.7t/m³

最終生成物：種類は肥料取締法上の分類で、2～13は普通肥料です。

(C/N比は整数、他は小数点以下1位まで)

| | 種類 [有・無] | 生成量 (t/日) | 含水率 (%) | 成分(固形物当たり) | | | | 予定出荷先 (種類ごとに複数可) |
|----|------------------------|--------------|------------|------------|--------------------------------------|-------------------------|------|--|
| | | | | N (%) | P ₂ O ₅ (%) | K ₂ O (%) | C/N比 | |
| 1 | 特殊肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 2 | 加工家きんふ ん肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 3 | 魚廃物加工 肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 4 | 乾燥菌体肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 5 | 副産植物質 肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 6 | 混合有機質 肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 7 | 混合汚泥複合 肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 8 | 下水汚泥肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 9 | し尿汚泥肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 10 | 混合汚泥肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 11 | 焼成汚泥肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 12 | 汚泥発酵肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |
| 13 | 水産副産物 発酵肥料 [有・無] | | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他() |

| | | | | | | |
|-----------------------|--|--|--|--|--|---|
| その他 ・ () [有・無] | | | | | | 1.畜産農家 2.耕種農家 3.生産組合 4. JA ・その他 () |
|-----------------------|--|--|--|--|--|---|

4. 設備の概要 (たい肥化)

【基本的な設備】

4.1 混合設備

| | |
|--------------------|-------------------------------|
| (1) 処理方式 (単一選択) | 1. 機械混合 2. ロータ利用 ・その他 () |
| (2) 処理量 | m ³ /日 (小数点以下1位まで) |

※ 処理量を重量表示している場合は、体積換算願います。参考値を下記に示しますが、バイオマスの種類や含水率により差がありますので、実情に即した値が把握できる場合は、そちらを優先してください。

参考値) 1.25m³/t

4.2 (一次) 発酵設備

| | |
|----------------------|--|
| (1) 攪拌方式名称 (名称記入) | |
|----------------------|--|

【その他の設備】

4.3~4.7の設備について有無を○で囲った上で、有の場合はそれぞれの内容を記入又は選択してください。

| | | |
|------------|-----|--|
| 4.3 前処理設備 | 有・無 | 方法 (方法名記入) |
| 4.4 乾燥設備 | 有・無 | 処理方式 (単一選択) 1. 乾燥機使用 2. 天日乾燥 ・その他 () |
| 4.5 二次発酵設備 | 有・無 | 攪拌方式名称 (方式名記入) |
| 4.6 製品調製設備 | 有・無 | 次の表で該当する設備の有無、ペレット化の有無を○で囲ってください。ペレット化有りのものと無しのもの両方の設備がある場合は、「両方」を○で囲ってください。 |

製品調製設備

| | 設備の種類 (製品荷姿) | 設備の有無 | ペレット化の有無 |
|---|--------------|-------|----------|
| 1 | フレコン詰 (全自動) | 有・無 | 有・無・両方 |
| 2 | フレコン詰 (半自動) | 有・無 | 有・無・両方 |
| 3 | 袋詰 (全自動) | 有・無 | 有・無・両方 |
| 4 | 袋詰 (半自動) | 有・無 | 有・無・両方 |
| 5 | バラ積み (自動) | 有・無 | 有・無・両方 |
| 6 | バラ積み (手動) | 有・無 | 有・無・両方 |
| ・ | その他 () | 有・無 | 有・無・両方 |

| | | |
|----------|-----|--|
| 4.7 脱臭設備 | 有・無 | 処理方式 (方式の異なる脱臭設備が複数ある場合は複数選択) 1. 水洗式 2. 吸着法 3. 薬液処理法 4. 生物脱臭法 (土壌脱臭法) 5. 生物脱臭法 (ロックウール脱臭法) 6. 生物脱臭法 (堆肥脱臭法) 7. 生物脱臭法 (活性汚泥脱臭法) 8. オゾン酸化法 ・その他 () |
|----------|-----|--|

※前処理設備とは、受入供給設備も含め、発酵に適した条件とするために、水分、有機物の調整、通気性の改善等を行うための設備を指します。

※乾燥設備とは、水分が高い原料を所定の水分に低下させるための設備を指します。

※一次発酵設備とは、易分解性の低分子の有機物(糖類やアミノ酸)を分解するための設備を指します。

※二次発酵設備とは、一次発酵で分解されなかった難分解性の高分子有機物を分解するための設備を指します。

※製品調製設備とは、製品コンポストの取扱い性、商品価値を高めるための設備であり、製品コンポストの保管も含まれます。

※脱臭設備とは、前処理工程の受入供給設備や混合設備等から発生する原料由来の臭気や、発酵設備から好気性発酵に伴い発生するアンモニア主体の臭気を吸引、補修し処理する設備を指します。

ご多忙の中、ご協力ありがとうございました。